

令和4年度 学校関係者評価報告書

NO. 33 市川市立大野小学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	<ul style="list-style-type: none"> 金融・金銭教育、プログラミング教育の推進 校内研究の充実による「自ら学び、思考し、表現する力」の育成 放課後学習の見直しと家庭学習の習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育・人権教育の充実 社会に開かれた教育課程の充実 学校行事、学級指導など、学校教育活動全体を通じた「共感と敬意」の大切さの伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な体力作りと学校体育の充実 健康に対する意識の高揚 安全教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 迅速かつ丁寧な保護者対応 学校情報の迅速かつ適切な発信 保護者、地域との連携 学校の安全に関する取り組みの充実
2	現状と課題	<p>学校評価児童肯定的評価面（前、今年度比較）</p> <p>「学校の勉強がよくわかる」92%→89% 「よく発表をする」53%→57% 「毎日家庭学習に取り組む」77%→82%</p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強がよくわかると回答した児童の割合は低下したが、よく発表し、毎日家庭学習を頑張ると回答した児童が増えたことは職員の実力の成果と思われる。 学力テストなどの結果を踏まえると学習内容の定着についてが本校の課題である。GIGAスクール推進校として、ICT機器を活用しながら、児童の個別最適な学び、協働的な学びを充実させたい。 	<p>学校評価児童肯定的評価面（前、今年度比較）</p> <p>「自分の役割に責任を持つ」87%→88% 「誰とでも仲良くできる」83%→88% 「楽しく学校に通っている」89%→86%</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しく学校に通っている児童が減ってしまったことは残念である。新型コロナウイルスへの制限が解除され、日常が戻りつつあることと一方でまだまだ予断の許されないことの間で不安やストレスを感じていることも影響していると思われる。 誰とでも仲良くできると回答した児童が1年前より5%増えたことは、豊かな心の表れであり、楽しく登校できる児童も今後増えていくことを期待したい。 	<p>学校評価児童肯定的評価面（前、今年度比較）</p> <p>「運動が好き」89%→86% 「安全に気を付ける」93%→92% 「好き嫌いをしない」78%→77%</p> <ul style="list-style-type: none"> 「運動が好き」の回答86%は平成29年度以降、最低の数値であり、コロナ禍の影響が顕著に表れている。体育科の時間はマスクをはすすなど、運動への制限は解除されつつあるので、次年度は学校体育の充実力をいりたい。 感染対策を取りつつ、運動会や長縄大会を行うことができた。ここ何年かは実施することを目標としていたが、次年度以降は内容の充実を図る必要がある。 	<p>学校評価保護者肯定的評価面（前、今年度比較）</p> <p>「思いやり願いに適切な対応」86%→86% 「経営方針を理解されるように努めている」87%→82% 「特色ある取組や教育を進めている」74%→71%</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度より学校ホームページの掲載提供回数は増えているが、保護者の評価にはつながらなかった。 今年度は千葉県金融委員会を委員を受け、公開研究会を開催したが、特色のある取組としての評価は低かった。 保護者対応については、組織として共通理解を深め、きめ細かく対応することに心がけた。
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 公開研究会に向けて、全学年が金融広報アドバイザーからの指導を受けた。 能力部会を中心に、令和2年度に作成された「大野小スタンダード」を改訂し、本校の学びの基盤として活用した。 先進校から学びながら、ICT機器を活用する機会を増やし、児童の「自ら学び、思考し、表現する力」を育成する。 教職の研修を増やし、児童にとっての「わかる授業」を実現していく。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で実施できなかった水泳指導や調理実習等を再開した。 外部人材との連携を奨励し、「水泳インストラクター」「税理士」など、新たな外聘講師を招聘した。 「大野っ子アンケート」の隔月実施を校内で定着させ、問題の早期発見に役立てる。 道徳の授業の充実（交代授業） 著名な実践者を講師とした学級経営に関する研修を開催する。 読み聞かせを再開し、感情を豊かに育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体部会を中心に、体育科の指導を充実させるための提示資料を作成した。 各種たよりで各担当より、生活習慣の大切さを呼びかけた。 栄養教諭が、残菜を減らすために映像教材を作成した。 すこやか口腔検診、歯科衛生に関する出前授業 学校保健審議会を開催した。 教科書開始前は安全教育、健康教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 心部会を中心に、課題を抱える児童の状況を共有し、職員全体で指導にあたった。 かけこみ110番ウォークラリーの内容の充実、家庭教育学級の再開など、昨年度優良PTAとして表彰を受けた本校PTAの活動を更に充実させた。 学校だけでなく学校ホームページによる情報の発信に努める。 ラジオ体操を地域の方と共に行う計画を立て、地域で育てる教育に努める。

		5・④・3・2・1	5・④・3・2・1	5・④・3・2・1	5・④・3・2・1
4	<p>達成状況</p> <p>5：十分達成できた 1：全くできなかった</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体としては達成できたとの及第点であるが、%が減少していることは、今後の対策が必要と思う。 わかりやすい授業、アクティブラーニングが更にできたらと思うが、年間の授業数を考えると簡単ではないと思う。 ICT機器を取り入れた授業は今後必要となるので、良いと思う。 数字から見る限り、学力に関する評価が低下しているようだ。国が目指す内容に現場が追いついていないのだろうか。 評価が過去最低の項目があり、気になっている。家庭学習が大きく影響していると思われるので、教職員と保護者が一体となって取り組む必要がある。 前期より評価が下がっているが、発表できる雰囲気が出てきていること、金融について学べたことを評価したい。 計算や漢字など、積み重ねの必要な勉強がわかりやすいとよい。 学校の勉強が狭い。子ども達にはもっと広い世界を知ってほしい。そして、一人一人の異なる個性が認められる学びをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく学校に通っている割合が減少しているのが心配。学校として最も重要な事項である。 中には奨励のできない子もいるが、毎朝元気に登校する姿が見られる。 大野川の良さを生かし、外部人材や他校の実践に学ぶ姿勢がすばらしい。 読み聞かせサークルの再開がよかったと思う。 先生たちの努力で、子どもたちの笑顔が増えていると感じる。 肯定意見が8割を越えているのは素晴らしいことだと思う。 子どもたちが楽しく学校に通えていることには感謝しかありません。 コロナ前に行っていた学年を越えた交流ができるようになれば、身をもって道徳や思いやりが育っていくと思う。 1年生の真からきょうだい学年で遊ぶことができたなら、身につくことが多いと思う。 学校が楽しく思えない理由に「勉強がわからない」ことがあるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 例年、この項目は肯定評価が高いと思っている。更なる高みを目指してほしい。 食については、家庭との連携が必要である。 家庭で子どもがゲームをしている時間が体力低下につながっていないか心配である。 運動の苦手な子が楽しく参加できる行事や取り組みを期待したい。 家庭との連携が必須となるので情報の共有を望む。 昨年の夏休み中小学生、幼稚園児とラジオ体操を行い、楽しい時を過ごさせてもらった。 児童が道幅いっぱい広がっていることがあるので、登下校のルールをしっかりと指導してほしい。 プールの再開などできることが増えたことを評価したい。来年度は全校での運動会を望む。 後期は寒い時期のため、外で遊ぶ機会が減ったのではないかな。 すこやか口腔ケアなど健康のもとになることをやっていたらとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を取り巻く環境は年々厳しくなっている。児童の安全を守るため、地域の方々との連携や情報の発信などを更に充実してほしい。 情報を事前にお知らせいただくと学校と地域で児童を見守ることができると思う。 PTA活動を簡素化したことで、学校と保護者のコミュニケーションの機会が減少している。スキットメールやホームページの活用が必要だ。 特色のある取組をしていると思うが開催のタイミング等、研究の余地ありと思う。 学校の経営方針をもっと保護者と共有できるとよいと思う。 地域と連携し、子どもを育てる教育はすばらしいと思う。 学年だよりでも積極的な発信ができるとうい。 個人的にはとても信頼している。 ホームページは充実していると思う。保護者側の気持ちや関心が減っているのではないかな。
5	<p>学校への意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートの結果について、相対的評価であるための判断の難しさを感じる。更に良い方法の検討や児童・保護者の生の声を聞きたい。 学校を支える方々がなかなか拡がらず、一部の方に負担が効かっているため、協議会のメンバーの充実や変更を検討していただきたい。 コロナ禍で大変な時期に教職員の皆さんが全てのことに注意を払い、職務に従事していることに敬意を表します。 アンケートは保護者に学校への興味関心を持ってもらうためのものだと思う。 情報リテラシーの教育や徹底が必要と思う。 家庭学習が減少している傾向が伺える。共働き世帯が当たり前となった社会環境の中での家庭でのかわり方は課題である。 家庭学習促進、定着のための講習会を開催することを提案します。 コロナ禍では難しいと思いますが、子どもたちが自ら学び、やる気が持てる授業を目指してほしい。 先生方の仕事量が多すぎると感じています。保護者ボランティア、PTA含め、応援団の強化が必要だと思います。 			

		<ul style="list-style-type: none"> ・転勤してきた方に聞いたら「大野小は色々な面で、子供を通わせやすい」と言っていた。 ・給食が温かくて美味しいと聞いている。 ・若い先生が多いようだが、子供の相談事には的確に対応しているようだ。 ・人間としての感謝や挨拶等ができるようにお願いいたします。 ・確かな学力の「わからないことを調べるのが好き」「家庭学習の習慣が身についている」、信頼される学校の「学校は特色ある取組を進めている」「学校は子供一人一人に適切な指導や支援を行っている」の評価結果が気になった。アンケート結果をプラスに変えていくために、学校としてどのように改善していくか、個々の先生方が自分の課題としてとらえ、具体的な対策を立て実践するか考えることが大切である。 ・保護者ももっと学校を見ると新しい取組を行っていることを理解できるはず。子どもが楽しみにしているので、大変だとは思いますが、金銭に関すること、外部講師の招請は引き続き行ってほしい。 ・口腔検診や歯科衛生に関することはもう少し増やしてほしい。歯は健康の基本であるが、子どもたちに理解されていないように思う。親の意識の差で健康の差が出ると思うので、全学年で毎年行ってほしい。 ・児童一人一人との個人面談のような時間があるとよい。 ・子どもの笑顔を増やすために、ディスカッションの場を1年生から取り入れてほしい。そうすれば、授業中の発表も増えると思う。
6	委員会への意見	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクールの推進は中学校ブロック単位でしてほしい。下見家中に中3の子が通っているが、小6の子より明らかにITスキルが高い。宮久保小、北方小の子たちは入学後にスキルの差があって可哀そうに思う。 ・学校評価の質問項目をもっと考察してほしい。コロナ禍に合わせた質問に変える必要があるのではないかな。 ・アンケートの項目が多すぎる。手立てを考えるためのものなので欲張りすぎないことが大事だと思う。